

(はじめに)

焼津 IC 周辺地区(3ページ概要図)では、平成 18 年度から国の制度である「都市再生整備計画」を活用し、土地区画整理事業を中心として様々なまちづくりを実施してきました。「都市再生整備計画」は5年後の整備目標を設定し、事業を進めていくことになっており、今年度は計画の最終年度となっております。

今回、計画実施前の5年前と比較し住民が住み良いまちになったと感じているかどうかを調査するため、平成 18 年1月に実施したまちづくりアンケート集計結果から、「まちづくりを進める上で重要である」とされた10項目を選び、前回と同様に住民基本台帳から地区内の世帯主400名(前回は 500 名)を無作為抽出し、アンケート調査を実施しました。なお、この400名は、現在実施中の大覚寺八楠区画整理地内から200名、八楠区画整理地内から200名を抽出いたしました。

今回のアンケートは400名中、八楠区画整理地内から97名(48.5%)、八楠区画整理地内から95名(47.5%)、計192名(48.0%)から回答をいただき、その集計結果は別添(7ページ以降)のとおりです。

○平成 18 年 1 月に実施したまちづくりアンケートについて

対象者 : 焼津 IC 周辺地区内の世帯主

抽出方法 : 無作為抽出

配布数 : 500 通

回収数 : 200 通 (回収率 40%)

※集計結果に大覚寺八楠土地区画整理事業区域内外の区別はない。